

第38回地方公務員共済資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和6年1月23日（火） 10：00～11：00
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・芹田委員
 - ・高山委員 ・竹原委員 ・徳島委員 ・野村委員 ・林委員
4. 議 事
 - (1) 令和5年度第2四半期の各積立金の運用状況（地共済）
 - (2) 令和5年度第2四半期の各積立金のリスク管理の状況（地共済）
 - (3) 退職等年金給付積立金における基本ポートフォリオの見直しの検討について

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
 - ・その後、意見交換及び質疑応答が行われた。
- (2) 令和5年度第2四半期の各積立金のリスク管理の状況（地共済）
 - オルタナティブ投資の運用状況について、来年度以降の不動産市況の見通しはどう考えているか。
 - 外国株式、外国債券でも人民元あるいは中国への投資があると思うが、全体としてリスク状況をどう考えているのか。
 - 外国債券について、メキシコ、マレーシア、ポーランド、イスラエルなど、主要先進国の通貨以外までも保有しているが、ここまでの分散投資をする理由を説明してもらいたい。
 - オルタナティブ投資は、組合員に仕組みやリスクの理解が進んでいるとは言えず、また、流動性が低いことから資金化に時間がかかることやファンド間のパフォーマンスの格差が大きいことから、特にプライベートエクイティ投資については引き続き慎重な対応をお願いしたい。

- 国内債券の新しい取組として、クライメート・トランジション・ボンドの発行も想定されるが、今後の活用やリスク管理への影響について何か考えがあるか。
- (3) 退職等年金給付積立金における基本ポートフォリオの見直しの検討について
- 国内債券 100%の基本ポートフォリオを継続することは適当であるが、金利上昇リスクが高まっていて、イールドカーブが大きく変化する可能性がある。国内債券 100%という資産構成割合としては、金利リスクを基準利回りとの関係で、もう少し明確にしていく必要があるのではないか。
 - インフレ率についていけない利回りでは、将来、基準利率の算定ルールが批判を受ける可能性があると思う。少なくとも配当込みで短期的な定期預金には勝っていかないと納得が得られにくい制度になるのではないかと思う。
 - 運用方法の見直しには柔軟性や機動性も求められると思うが、委員会の審議を待つことに支障はないか。
 - 運用方法の検討については、今後、数量的な分析も検討する必要があるのではないか。

以上